

さつきやま魂

さつきやま魂の誇りを胸に、ふるさとに貢献する青年の育成

崎山中学校だより
2月28日 第20号
文責 校長 山下



君たちはどう生きるか

2月も今日で終了し、今年度もいよいよ残り1か月となりました。先週は厳しい寒さが続き、数名の体調不良生徒も発生しました。学校では、三密の回避やマスク着用、手洗い、換気、毎日の消毒等の感染症対策を引き続き実施します。御家庭でも、これまでも同様の感染症対策を行うとともに、登校前に発熱や風邪の症状等がお子様になりましたら、無理せず御家庭で休ませていただきますようお願いいたします。

さて、卒業、進級を直前にして、ここで一冊の本を紹介いたします。吉野源三郎さんが約80年前に書かれた「君たちはどう生きるか」という本の漫画版です。本校図書センターにもありますが、数年前にメディアでも取り上げられていたので、読んだ人も多いと思います。

この本に登場する主人公コペル君が、おじさんとのやりとりを通して、自分自身の生き方について考え、自分自身の本心の声を聞いて行動していくという内容のもので、一部を簡単に紹介いたします。

コペル君は、ガッチンという友達をいじめから守るといふ約束を、同じ同級生2人と共に3人で行います。しかし、いざそのような場面になったとき、コペル君だけ友達を裏切ってしまうからどう接していいかわからず、コペル君は、学校に行けなくなり悩み苦しんでいるという話です。「コペル君がなぜ悩み苦しんでいるのか。そのような気持ちを持つようになったのはなぜか。コペル君を苦しませているものは何なのか。」みなさんはどう思いますか？

誠実とはどのようなことなのか、正直とは何か、友情とはなご、自分自身に問いかけて、**コペル君は一生懸命考えます。**

その時のおじさんからの手紙には、

「コペル君、今君は、大きな苦しみを感じている。なぜそれほど苦しまなければならないのか。それは君が正しい道に向かおうとしているからなんだ」というメッセージがありました。

おとし、正直、誠実あるいは友情に対して、コペル君に豊かな心も、正しく育っていきなかつたら、このように苦しみが感じなかつたかもしれません。そして、今、さらに成長しようとしていきます。

この本には、「自分で考える」というよく出てくるキーワードがあります。コペル君は、自分で一生懸命考え悩み苦しんだことで大きく成長しました。この後、コペル君はどのような行動をとったのか？ 知りたい人はぜひ本を読んでください。

公立高校後期入試に向けて

公立高校の3月8・9日には、後期入試が行われます。現在、実施される受検生は、向けた応援メッセージが掲示されています。桜模様のカードには、受検生への心温まる1・2年生のメッセージが書かれています。きつと3年生一人ひとりを勇気づけてください。



職業講話から

2月24日、五島市役所商工雇用政策課の西川克也さんと来校していただき、職業講話を実施しました。今回は、感染症拡大防止のため、リモートで行いました。

五島市の最も大きな課題は人口減少です。その主な要因として、「五島市で働きたくても仕事がない。」ことで、島外に出てしまう若者が多いことがありました。そこで、五島市では、いろいろな企業に働きかけ、働くことのできる環境づくりを行うことのできる環境づくりを、働くことを紹介するなどの、五島市の職業を紹介することです。活動を行っていること、啓発基幹産業である農業や漁業の進化をはじめ、IT産業など、五島市にもいろいろな職種があることを知り、子どもたちにとっても、新たな発見がありました。



おしらせ

部活動

現在、五島市内のすべての学校において、3月に大会がある部を除いては、部活動は平日のみ実施しています。御理解と御協力をお願いします。

3月8・9日
公立高校後期入試

3月8日
学校支援会議
(変更も有り得る)

3月15日
卒業証書授与式

偶然であるが、職業講話をしていただいた五島市役所職員の西川さんは、私が翁頭中勤務時代の教え子であった。西川さんの同級生は全員で44名。その中の20名以上が、現在五島市内で暮らしているという。先日、そのことを初めて知った。ふるさと五島への愛を感じ、とても嬉しく思った。

崎山中に教諭として勤務していた時の生徒も同様で、かなりの人が五島市内で働いている。島外で暮らしている卒業生も含めて、ふるさと崎山を誇りに思っている人を感じた時、教師冥利に尽きる瞬間でもある。